

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	○学習意欲の喚起を基軸とした教科横断的なカリキュラム・マネジメントに取組み、生きて働く知識・技能の習得及び学びに向かう力、思考力・判断力・表現力を育成する	①確かな学力育成の授業研究において、寒川高校の生徒に身に付けさせたい力を明確にしたうえで育成を図るとともに、身に付いたかどうかの評価方法も研究する。 ②教員研修を工夫充実に、本校生徒に適した授業改善を図る。	①授業研究グループを教科ごとと教科横断的なグループの二つを設定し、それぞれのグループの視点から身に付けさせたい力について、効果的な授業展開を研究・実施する。また、その評価方法を研究する。 ②OJTを活用して効果的な授業実践を共有する。また、ICTを効果的に活用する授業事例を共有する。	①授業を通じて、生徒の能力が伸長したか。また、その評価方法が適正であったかの検証ができたか。 ②本校生徒の特性に合わせた授業づくりに取組み、指導方法等について教科の枠を超えた共有ができたか。
2	生徒指導・支援	①基本的生活習慣を確立させ、規範意識を醸成するとともに、安心して学校生活を送れるように生徒の心のサポートを行う。 ②生徒が自ら考え行動する活動を通じて、責任感や連帯感の醸成と達成感が得られるよう生徒会活動を充実させる。	①社会の一員として必要な、社会のきまりやルール・マナーを理解させるとともに粘り強く指導してその定着を図る。また、生徒個々に応じた組織的支援体制をさらに整理強化する。 ②心身の健康のもとに学習活動に安心して取り組める環境を整える。 ③特別活動において、他者と協働し、生徒主体で計画・実施できるよう支援する。	①全教職員で「生徒支援の指針」と「生徒対応の手引き」について共通認識を図る。また、SSEの取り組みや交流当番、下校指導などを通じて、生徒に関わりながら、生徒一人ひとりの特性を理解して、信頼関係をつくりながら、問題行動の未然防止に努める。 ②生徒の日頃の行動変化を観察し、声かけや面談の実施等による困り事や悩み事を早期に聞き取り、情報共有を密にして、組織的に支援する体制を整理確立する。 ③生徒会、各種委員会、係、学校行事等において、役割の目的を明確にし、計画段階から生徒を支援するとともに、生徒、職員が一体となって取り組む。	①生徒と積極的に関わりながら一人ひとりを理解して良好な関係性をつくり指導できたか。また、問題行動を起こす生徒を適切に指導し、繰り返し問題行動を起こす生徒の問題行動の発件数を減少させることができたか。 ②職員が情報を共有し、学年団や教育相談コーディネーター等を中心にSCやSSW、外部資源等を活用しながら複数の職員による組織的かつ適切な支援体制が築けているか。 ③生徒会の各種委員会及び学年行事等において教員が関わり指導しながら、生徒が自ら他者と協力し、自らの役割を果たし、全体に貢献することによって、達成感や満足感を得ることができたか。

3	進路指導・支援	<p>○社会的・職業的自立のために、生徒に自己の在り方生き方を考えさせ、望ましい勤労観や職業観を基盤として主体的に進路を選択する能力を育成し、生徒一人ひとりの進路実現につなげる。</p>	<p>①生徒の希望や状況を把握し合意形成のもと、個々の適性に合った進路実現ができるよう細やかな進路指導を実践する。</p> <p>②キャリア教育に係る外部の資源を有効に活用し、生徒の進路意識の向上を図る。目標をもって進路実現できる生徒を育成する。</p>	<p>①校内の支援体制及び校外の支援機関とも連携し、進路指導に関わる支援の充実を図る。また、昨年導入した求人票システムを通じて、進路指導の効率化と生徒の進路選択の最適化を合わせて進められるよう、運営面での改善を図る。だれでも対応できる進路指導体制を構築するとともに、事故防止に努める。</p> <p>②地区インターンシップや仕事のまなび場などの体験活動や職場見学などを実施し、生徒の職業観を育成するとともに、1・2年次における生徒の進路意識の向上を図る。</p>	<p>①生徒が目的を持って進路を選択することができたか。進路未決定者を10%以内とすることができたか。(昨年度9.8%)</p> <p>①適切な支援体制のもと、進路支援を行うことができたか。</p> <p>②生徒の多用な進路のニーズを踏まえ、地区インターンシップや仕事のまなび場などの体験活動の周知を徹底し、参加希望者を募る。また、令和5年度と比較し体験者数を増やすことができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>○寒川町唯一の高等学校として、寒川町や近隣地域、小中学校の期待に応え、地域に親しまれ、地域とともにある学校づくりを進める。</p>	<p>①計画的な広報活動を展開し、中学生や地域に向けて寒川高校の魅力と特色を効果的に発信する。</p> <p>②HP等を組織的に更新させ、新しい情報等を提供する。</p>	<p>①中学生の進路活動を踏まえ、計画的・系統的な広報活動に取り組む。</p> <p>②HPの更新に加え、SNSでの情報発信を定期的に行う仕組みを整える。</p>	<p>①中学生の進路活動を踏まえた広報活動を展開することができたか。</p> <p>②HPに最新の情報を掲載し、更新することができたか。また、SNSでの主体的な情報発信を推進することができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>○事故・不祥事防止を徹底し、地域から信頼される学校づくりに努め、持続可能な学校運営と生徒に寄り添った教育を継続するための「働き方改革」を推進する。</p>	<p>①行事予定や施設等の管理・調整を通じた円滑な学校運営に取り組む。</p> <p>②合意形成のもと、校内融和や風通しの良い職場環境づくりを目指す。</p>	<p>①業務の効率化の視点を持ち、学校運営にかかわる調整を行う。</p> <p>②各種調整を通じ円滑な学校運営により、事故・不祥事防止に努める。</p>	<p>①各グループと連携し、学校運営に係る調整を通じて、業務改善を進めることができたか。</p> <p>②自分事として、事故・不祥事防止に取り組むことはできたか。</p> <p>②職員のウェルビーイングは高まったか。</p>